| 学校番号 | 323 |
|---|---|

# 令和３年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 家庭総合　自立・共生・創造（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | カラーガイド食品成分表（大修館書店） | | | | | | |

## １ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。

・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。

・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。

・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身に付けます。

・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

## ２ 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## ３ 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。 | 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざしして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。 | 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 | 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的基本的な知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 学習状況の観察<br>プリントやワークシートの記述<br>レポート<br>実習記録<br>自己評価　等 | 学習状況の観察<br>プリントやワークシートの記述<br>レポート<br>実習記録<br>定期考査の結果<br>自己評価・相互評価等 | 学習状況の観察<br>プリントやワークシートの記述<br>レポート<br>実習記録<br>製作物<br>定期考査の結果<br>自己評価　等 | 学習状況の観察<br>プリントやワークシートの記述<br>レポート<br>実習記録<br>定期考査の結果　等 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 | 衣生活をつくる | ○被服のさまざまな役割を整理する。<br>○被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味を知る。<br>○汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。<br>○被服製作<br>被服製作の基本的事項を確認し、自分に合った被服の製作ができる。<br>＊カーゴパンツの製作 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ａ：被服の機能、文化、着装、被服管理について関心をもち、実生活で活用しようとする意欲を持って学習に取り組んでいる。<br>ｂ：着装、被服の選択、被服管理などに関わる様々な課題について考え、まとめることができる。<br>ｃ： 被服管理や被服製作についての技術が身に付いている。自身の作品を振り返り評価している。<br>ｄ： 着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などについて、科学的に理解し、安全と環境に配慮した衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>プリント<br>ワークシート<br>小テスト<br>レポート<br>実習記録<br>製作物<br>自己評価 |
| 2 | 住生活をつくる | ○住居の機能を考える<br>○平面図の基礎知識を習得し、間取りや動線について理解する。<br>○ライフステージに合った住居を考える。<br>○室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を理解する。<br>○バリアフリーの考え方を理解する。 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a：安全で快適な住まい方や住環境について考えようとしている。<br>ｂ：家庭内事故や防災など、安全な住環境の課題について考えを深め、まとめたりしている。<br>ｃ：よりよい居住環境を整備するために必要な平面図を読み取ることができる。健康や安全に配慮した室内整備や住環境について情報を収集・整理し、検討することができる。<br>ｄ：住居の機能、住空間の計画、住環境など、安全で快適な住まいについて科学的に理解している。安全と環境に配慮した住環境や現代の住生活の課題を認識し、その知識を身につけている。 | 授業観察<br>プリント<br>ワークシート<br>レポート<br>自己評価 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2・3 | 食生活をつくる | ○日常の食生活を振り返り、食生活の変化や課題について理解する。<br>○日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。<br>○日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめる。<br>○食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を知る。<br>＊調理実習（洋食）<br>○青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を知る。<br>○食生活の自立に必要な基本的な調理技術を科学的な視点から学び、日常食を作れるようになる。<br>＊調理実習（和食）<br>○日本や地域の食文化を見直し、食文化を継承について考える。<br>○食料生産や食料問題、食の安全性など課題について考える。<br>○生涯を通じて健康で安全な食生活を営む力を身につける。<br>＊調理実習（中華） | ○<br>○<br>○<br>○<br><br>○<br><br>○<br><br>○<br><br>○<br><br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br><br>○<br>○<br><br>○<br>○<br><br>○<br>○<br><br>○ | <br><br>○<br><br>○<br>○<br><br>○<br><br>○<br><br>○<br><br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br><br>○<br>○<br><br>○<br><br>○<br><br>○<br><br>○ | a：自分や家族の食生活、地域の食文化に関心を持ち、食生活と健康の関わりを考え、意欲的に食生活の改善・向上に努めようとしている。食事調査や食品成分表を活用して栄養計算し、食生活の問題点を考えようとしている。調理実習や実験などに、科学的な視点から、積極的に取り組もうとしている。食品表示に関心を持ち、食生活の安全と環境について考えようとしている。<br>b：現代の食生活の課題や食事の意義について思考を深めている。栄養と健康な食生活の関わりについて考えている。食文化の在り方や継承について考えている。食品をめぐる近年の事例から、食生活の安全性や環境について思考を深めている。食品の購入から廃棄、環境との関わりなど、持続可能な食生活について考え、工夫している。<br>c：食品成分表を活用して、栄養計算をすることができる。食生活をよりよくするための調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。<br>d：栄養、食品、調理及び食品衛生など、食事と健康との関わりについて、科学的に理解している。調理実習を通して、食生活の自立に必要な知識を身につけている。地域の食文化から、風土と食物の関係を理解している。現代の食生活の課題、食文化、食品の安全性と環境についての課題を認識しその知識を身につけている。 | 授業観察<br>プリント<br>ワークシート<br>定期考査<br>レポート<br>実習記録 |

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。